

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	研究科の設置									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ジュンテンドウ 学校法人 順天堂									
フリガナ大学の名称	ジュンテンドウダイガクダイガクイン 順天堂大学大学院									
大学本部の位置	東京都文京区本郷2丁目1番1号									
大学の目的	順天堂大学大学院は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学、医療看護学、理学療法学、診療放射線学及び国際教養学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的及び使命とする。									
新設学部等の目的	国際教養学研究科は、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、国際教養学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	国際教養学研究科 国際教養学専攻	2年	5人	—年次人	10人	修士（国際教養学）	令和6年4月 第1年次	東京都文京区本郷2丁目1番1号		
	計		5	—	10			【基礎となる学部等】 国際教養学部 国際教養学科 14条特例の実施		
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	薬学部薬学科 (180) (令和5年3月認可申請) 保健看護学部看護学科〔定員増〕(30) (令和5年3月認可申請)									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	国際教養学研究科 国際教養学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30単位				
		16科目	8科目	—科目	24科目					
教員の組織概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計		
	新設	国際教養学研究科 国際教養学専攻（修士課程）	6人 (6)	7人 (7)	2人 (2)	0人 (0)	15人 (15)	0人 (0)	7人 (7)	
		計	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	7 (7)	
	既設	医学研究科 医科学専攻（修士課程）	61 (61)	92 (92)	4 (4)	12 (12)	169 (169)	0 (0)	50 (50)	
		医学研究科 医学専攻（博士課程）	175 (175)	381 (381)	12 (12)	42 (42)	610 (610)	0 (0)	164 (164)	
		スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（博士前期課程）	20 (20)	28 (28)	2 (2)	11 (11)	61 (61)	0 (0)	11 (11)	
		スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（博士後期課程）	17 (17)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	1 (1)	
		医療看護学研究科 看護学専攻（博士前期課程）	21 (21)	30 (30)	1 (1)	9 (9)	61 (61)	0 (0)	140 (140)	
		医療看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）	15 (15)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	8 (8)	
保健医療学研究科 理学療法学専攻（修士課程）		4 (4)	7 (7)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	11 (11)		
保健医療学研究科 診療放射線学専攻（修士課程）		6 (6)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	11 (11)		
	計	319 (319)	567 (567)	22 (22)	75 (75)	983 (983)	0 (0)	396 (396)		
	合計	325 (325)	574 (574)	24 (24)	75 (75)	998 (998)	0 (0)	403 (403)		

教員以外の職員 の概要	職 種	専 任	兼 任	計	大学全体
	事 務 職 員	790人 (790)	935人 (935)	1,725人 (1,725)	
	技 術 職 員	40 (40)	254 (254)	294 (294)	
	図 書 館 専 門 職 員	8 (8)	6 (6)	14 (14)	
	そ の 他 の 職 員	5,297 (5,297)	735 (735)	6,032 (6,032)	
	計	6,135 (6,135)	1,930 (1,930)	8,065 (8,065)	

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	173,394 m ²	0 m ²	0 m ²	173,394 m ²					
	運 動 場 用 地	142,366 m ²	0 m ²	0 m ²	142,366 m ²					
	小 計	315,759 m ²	0 m ²	0 m ²	315,759 m ²					
	そ の 他	141,497 m ²	0 m ²	0 m ²	141,497 m ²					
合 計	457,256 m ²	0 m ²	0 m ²	457,256 m ²						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		171,003 m ² (154,845 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	171,003 m ² (154,845 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	139 室	188 室	260 室	7 室 (補助職員0名)	5 室 (補助職員0名)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		国際教養学研究科 国際教養学専攻		13 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での 特定不能なため、 大学全体の 数		
	国際教養学研究科	299,392 [105,029]	5,385 [2,007]	44,614 [42,961]	3,829	53,138	694			
	国際教養学専攻	(299,392 [105,029])	(5,385 [2,007])	(44,614 [42,961])	(3,829)	(53,138)	(694)			
	計	299,392 [105,029] (299,392 [105,029])	5,385 [2,007] (5,385 [2,007])	44,614 [42,961] (44,614 [42,961])	3,829 (3,829)	53,138 (53,138)	694 (694)			
図 書 館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	3,818 m ²		893		323,967					
体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	17,386m ²		柔道場 1室		剣道場 1室					
			テニスコート 14面		サッカー場 1面					
			ラグビー場 1面		陸上競技場 1面					
			室内プール 1面		野球場 1面					
			ゴルフ練習場 1面		投てき場 1面					
			フットサルコート 2面							
経 費 の 積 り 及 び 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	申請研究科全体 図書費には電子 ジャーナル・ データベースの 整備費（運用コ スト含む）を含 む。	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等		300千円	300千円	—千円	—千円	—千円		—千円
		共同研究費等		3,250千円	3,250千円	—千円	—千円	—千円		—千円
		図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円	—千円		—千円
	設備購入費	2,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	800千円	650千円	—千円	—千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入，事業収入，補助金収入等の一部を充当する							
大 学 の 名 称 順天堂大学										
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
大学院 医学研究科 医科学専攻 (修士課程)		2	60	—	120	修士 (医科学)	1.45	平成 25年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	
大学院 医学研究科 医学専攻 (博士課程)		4	180	—	720	博士 (医学)	1.00	昭和 34年度	同上	
大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士前期課程)		2	61	—	122	修士 (スポーツ健康科学)	1.04	平成 9年度	千葉県印西市平賀 学園台1丁目1番地	
大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士後期課程)		3	10	—	30	博士 (スポーツ健康科学)	1.56	平成 12年度	同上	

既設 大学等 の 状 況	大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士 (看護学)	1.12	平成 19年度	千葉県浦安市高洲 2丁目5番1号		
	大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	34	博士 (看護学)	1.00	平成 26年度	同上	※看護学専攻(博 士課程)令和4年 度入学定員増(2 人)	
	大学院 保健医療学研究科 理学療法学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (理学療法学)	—	令和 5年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	※理学療法学専攻 (修士課程)令和 5年度開設(5人)	
	大学院 保健医療学研究科 診療放射線学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (診療放射線 学)	—	令和 5年度	同上	※診療放射線学専 攻(修士課程)令 和5年度開設(5 人)	
	医学部 医学科	6	140	—	829	学士 (医学)	1.00	昭和 27年度	同上	※医学部医学科 令和2年度入学定 員減(5人) 令和3年度入学定 員増(1人) 令和4年度入学定 員増(2人) 令和5年度入学定 員増(2人)	
	スポーツ健康科学部						1.02		千葉県印西市平賀 学園台1丁目1番地		
	スポーツ健康科学科	4	600	—	1800	学士 (スポーツ健康科 学)	1.02	令和 3年度	同上	※スポーツ健康科学 科 令和3年度開設 (600人)	
	スポーツ科学科	4	—	—	—	学士 (スポーツ科学)	—	平成 5年度	同上	※スポーツ科学科 令和3年度より学 生募集停止	
	スポーツマネジメント学科	4	—	—	—	学士 (スポーツマネジメント学)	—	平成 5年度	同上	※スポーツマネジメント学 科 令和3年度より学 生募集停止	
	健康学科	4	—	—	—	学士 (健康学)	—	平成 5年度	同上	※健康学科 令和3年度より学 生募集停止	
	医療看護学部 看護学科	4	220	—	840	学士 (看護学)	0.99	平成 16年度	千葉県浦安市高洲 2丁目5番1号	※医療看護学部令 和4年度入学定員 増(20人)	
	保健看護学部 看護学科	4	130	—	500	学士 (看護学)	1.03	平成 22年度	静岡県三島市大宮 町3丁目7番33号	※保健看護学部令 和4年度入学定員 増(10人)	
	国際教養学部 国際教養学科	4	240	—	960	学士 (国際教養学)	0.98	平成 27年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号		
	保健医療学部 理学療法学科	4	120	—	480	学士 (理学療法学)	1.00	平成31 年度	同上		
	診療放射線学科	4	120	—	480	学士 (放射線技術学)	0.99	平成31 年度	同上		
	医療科学部 臨床検査学科	4	110	—	220	学士 (臨床検査学)	1.01	令和4 年度	千葉県浦安市日の 出6丁目8-1 同上	※医療科学部令和 4年度開設 ※臨床検査学科 令和4年度開設 (110人)	
	臨床工学科	4	70	—	140	学士 (臨床工学)	1.00	令和4 年度	同上	※臨床工学科 令和4年度開設 (70人)	
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	4	100	—	100	学士 (健康データサイ エンス学)	—	令和5 年度	同上	※健康データサイエ ンス学部令和5年 度開設(100人)	
			1 順天堂大学医学部附属順天堂医院 (目的) 医療活動 (所在地) 東京都文京区本郷3丁目1番3号 (設置年月) 明治6年2月 (病床数) 1,051床 (規模等) 土地: 17,321.88㎡ 建物: 118,988.80㎡								

附属施設の概要

- 2 順天堂大学医学部附属静岡病院
 (目的) 医療活動
 (所在地) 静岡県伊豆の国市長岡1129番地
 (設置年月) 昭和42年4月
 (病床数) 633床
 (規模等) 土地：52,190.19㎡ 建物：83,470.13㎡
- 3 順天堂大学医学部附属浦安病院
 (目的) 医療活動
 (所在地) 千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
 (設置年月) 昭和59年5月
 (病床数) 785床
 (規模等) 土地：32,916.03㎡ 建物：68,642.42㎡
- 4 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
 (目的) 医療活動
 (所在地) 埼玉県越谷市袋山560番地
 (設置年月) 平成元年4月
 (病床数) 226床
 (規模等) 土地：16,946.69㎡ 建物：6,523.92㎡
- 5 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
 (目的) 医療活動
 (所在地) 東京都江東区新砂3丁目3番20号
 (設置年月) 平成14年6月
 (病床数) 404床
 (規模等) 土地：3,655.21㎡ 建物：35,131.36㎡
- 6 順天堂大学医学部附属練馬病院
 (目的) 医療活動
 (所在地) 東京都練馬区高野台3丁目1番10号
 (設置年月) 平成17年7月
 (病床数) 490床
 (規模等) 土地：17,900.18㎡ 建物：40,954.03㎡
- 7 さくらキャンパス体育館 (第1, 第2, OGAWA GYMNASTICS ARENA)
 (目的) 教育研究施設
 (所在地) 千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地
 (設置年月) 第1体育館 昭和63年4月
 第2体育館 平成 4年4月
 OGAWA GYMNASTICS ARENA 平成29年4月
 (規模等) 第1体育館 7,332.28㎡
 第2体育館 1,249.15㎡
 OGAWA GYMNASTICS ARENA 3,515.87㎡
 合計 12,097.30㎡
- 8 浦安・日の出キャンパス薬用植物園
 (目的) 教育研究施設
 (所在地) 千葉県浦安市日の出6丁目8-1
 (設置年月) 令和7年3月 (予定)
 (規模等) 889.60㎡

教育課程等の概要															
(国際教養学研究科国際教養学専攻 (M))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	グローバルコミュニケーション論	1前	2			○				1	1				兼1 共同※演習 オムニバス※演習
	グローバルヘルスサービス論	1前	2			○				1					
	Advanced Academic Writing and Communication	1前	2				○			1					兼1 ※講義 兼2 オムニバス オムニバス・共同 (一部)
	数理・データサイエンス概論演習	1前	2				○			1	1				
	リサーチリテラシー	1前	2				○			2	1				
	研究方法論	1後		2				○			2	1			
	小計 (6科目)	—	—	10	2	0	—	—	—	3	4	2	0	0	兼3
専門科目	研究領域 グローバルコミュニケーション研究	1後		2		○									兼1 集中※演習 兼1 オムニバス
	地域研究特論	1後		2		○									
	Advanced Studies in Gender	1後		2		○				1					兼1 ※演習
	Advanced Studies in Arts	1後		2		○				1					
	Advanced Studies in Intercultural Communication	1後		2		○				1					
	Advanced Studies in International Relations	1後		2		○				1					兼1
	Advanced Studies in International Economics	1後		2		○									
	Advanced Studies in Global Sociology	1後		2		○					1				※演習
	社会心理学特論	1後		2		○									兼1 ※演習
	小計 (8科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	2	3	0	0	0	兼4
研究領域 グローバルヘルスサービス	Advanced Studies in Health and Sports Science	1後		2		○				1					兼1 ※演習 オムニバス・共同 (一部) ※演習
	Advanced Studies in Basic Medicine	1後		2		○				1					
	Advanced Studies in Biostatistics	1後		2		○					1				
	Advanced Studies in Epidemiology and Preventive Medicine	1後		2		○					1				
	Advanced Studies in Global Health	1後		2		○				1					
	ヘルスコミュニケーション特論	1後		2		○					1				
	小計 (6科目)	—	—	0	12	0	—	—	—	3	2	1	0	0	
研究指導科目	国際教養学特別研究Ⅰ	1前	2				○			6	2				兼0
	国際教養学特別研究Ⅱ	1後	2				○			6	2				
	国際教養学特別研究Ⅲ	2前	2				○			6	2				
	国際教養学特別研究Ⅳ	2後	2				○			6	2				
	小計 (4科目)	—	—	8	2	0	—	—	—	6	2	0	0	0	
合計 (24科目)		—	18	30	0	—	—	—	6	7	2	0	0	兼7	
学位又は称号			修士 (国際教養学)			学位又は学科の分野			文学関係, 社会学・社会福祉学関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
修了要件 本研究科に2年以上在学して, 次の履修方法で30単位以上を修得し, 必要な研究指導を受け, 修士論文又は特定の課題についての研究成果を提出し, その審査及び最終試験に合格すること。 履修方法 必修科目18単位, 選択科目から12単位以上を履修する。但し, 専門科目のグローバルコミュニケーション研究領域とグローバルヘルスサービス研究領域からそれぞれ4単位以上を履修すること。								1 学年の学期区分			2 期				
								1 学期の授業期間			15 週				
								1 時限の授業時間			90 分				

授 業 科 目 の 概 要			
(国際教養学研究科国際教養学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	グローバルコミュニケーション論	コミュニケーション論は、人文・社会科学を中心とした学際領域である。この授業科目では、「グローバルコミュニケーション」に関連する理論・アプローチを学ぶ。古典的なものから最新の文献までを扱った基本テキスト2冊を講読する。主に人文科学的な領域として翻訳学の知見を、社会科学領域として社会言語学や社会心理学の知見を扱う。受講生は、事前準備及び授業内の報告・ディスカッションを大学院生として主体的・積極的・批判的に行い、自らの思考の限界を認識したうえで、拡張することを試みる。受講生同士の相互学習を重視し、講義・文献講読のみならず、報告やターム・ペーパーの相互批評等の活動も行う。	共同 講義 21時間 演習 9時間
	グローバルヘルスサービス論	持続可能な開発目標であるすべての人に健康と福祉を（“GOOD HEALTH AND WELL-BEING”）」の実現を目指すために、グローバルヘルス（Global Health）領域の健康課題について、個人レベルから社会レベルにおける要因について理解を深める。また、不公正な健康格差の解決にむけて、現在実施されているサービス（保健・医療・福祉を含む）提供の実践を概観する。さらに、科学的な視点から探究するヘルスサービスリサーチ（Health Services Research）の手法を学修する。この授業科目では、SDGsの視点から、グローバル社会の健康課題を理解し、グローバル社会の健康課題解決に向けての活動や方法論について修得することを目指す。 （オムニバス方式/全15回） （1 加藤 洋一/7回） グローバルヘルスに関する健康課題とその取り組み、感染症疾患及び非感染症疾患の特徴と効果的な対策、健康が貧困に及ぼす影響について概説する。 （岡本(安田) 美代子/8回） グローバル社会の健康課題と協働、健康課題解決への組織的な取り組み（国際連合、UNDP・WHO、政府開発援助（ODA）、非政府組織（NGO））、国際援助活動に必要な危機管理、プロジェクトマネジメントについて概説する。	オムニバス方式 講義 21時間 演習 9時間
	Advanced Academic Writing and Communication	この授業科目は、国際教養学諸領域を専攻する大学院生が、修士課程の学びにおいて必要とされる、英語によるアカデミック・ライティングとプレゼンテーション能力、それらの基盤としてリサーチに必要な学術論文を探し、読む力（リテラシー）、を習得することを目的とした入門演習である。具体的には、グローバルコミュニケーション・ヘルスサービス研究領域における主な成果発表の種類（学会プロポーザル、研究発表、論文、ポスターなど）を知り、読み手・聞き手に向けて分かりやすく書き、発表する能力を養う。また、データ分析、インタビュー、エッセイ、発表を含むプロジェクトへの取り組みを通して、修士課程で求められる様々なジャンルの成果発表の作成過程を体験する。学期を通して、英語を使ってフォーマル・インフォーマルに書く・話す能力を高め、大学院で期待される自律したアカデミック・コミュニケーションを身につける。	
	数理・データサイエンス概論演習	近年ICT分野の発展により、データに基づく意思決定（データドリブン）が容易に実行できるようになった。それを支えているデータサイエンス（DS）への理解は重要になっている。DSは近年注目されている学際的な学問領域であり、統計学・プログラミング言語などへの理解のみならず、多くの既存の学問分野への理解が必要である。この授業では、データサイエンスへの理解を講義・演習を通じて深め、①データドリブな考え方とは何かを理解し、②データサイエンスの基本的な技能のひとつである「データ分析」について理解し、③データサイエンスの技術的な側面を理解することを目指す。	演習 21時間 講義 9時間

基盤

<p>科目</p>	<p>リサーチリテラシー</p>	<p>修士論文又は特定の課題についての研究の成果を完成させるために必要な基盤となるリサーチ能力を身に付けるため、課題の設定、文献調査、成果報告の方法及び研究倫理などのリサーチリテラシーを学ぶ。具体的には、図書館にあるデータベースの検索方法、調査研究を行う際に知っておくべき個人情報保護法、著作権法における引用・複製の概念、質的研究と量的研究の違いなどを実践的な例を使い演習形式で教授する。リサーチリテラシーの教育は、最先端の知にアクセスする能力、自ら課題を発見し設定する力、自ら仮説を構築し検証する力、倫理観（研究倫理）を養う。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (5 ニヨンサバ フランソワ/1回) 基礎医学におけるリサーチの実践例について概説する。</p> <p>(6 田村 好史/1回) 健康・スポーツ科学におけるリサーチの実践例について概説する。</p> <p>(12 白山 芳久/8回) 研究の進め方（作業仮説の立て方、情報収集、検証法）、図書館での情報検索・文献検索の仕方、論文の構成、学術プレゼンテーションの仕方、研究倫理など修士論文を作成するために必要なリサーチ能力を修得させる。また量的研究について概要からデザイン、結果の解釈について概説する。</p> <p>(15 シャルヴェ アドリアン/1回) 生物統計学を用いたリサーチの実践例について概説する。</p> <p>(岡本 美代子/3回) 質的研究の概要、研究デザイン、質的研究の結果の解釈について概説する。</p> <p>(菊池 京子/1回) 学術論文の利用と著作権、リサーチを行う上での個人情報の取扱いについて概説する。</p>	<p>オムニバス方式</p>
	<p>研究方法論</p>	<p>この授業科目では、量的・質的研究の目的・方法について学ぶ。量的・質的調査、分析を通して、ロジカルシンキングのエッセンスを習得する。また、量的・質的研究に関する文献を正しく読む力を身に付けることで、実際の研究に応用する方法を学ぶ。この科目は、研究者としてのキャリアを求める学生に対しての「自立的な研究者として必要な能力や技法を身に付けるための教育プログラム」であり、大学院博士後期課程へ進学する希望がある学生のためのものである。</p> <p>(オムニバス方式・共同（一部）/全15回)</p> <p>(10 池田（野田） 愛/9回) 量的研究に関する基礎及び応用・実践について概説する。仮説と因果関係、量的研究における指標、バイアスと交絡などの基礎から記述・横断研究、症例対照・コホート研究、介入研究などの研究方法を修得させる。</p> <p>(14 齊藤 美野/1回) 質的データのアーカイブについて概説する。</p> <p>(16 岡部 大祐/1回) 定性的な社会調査法のひとつである参与観察について概説する。</p> <p>(14 齊藤 美野・16 岡部 大祐/4回)（共同） 質的研究法の特徴・強みを概説し、インタビュー調査の技法を修得させる。オートエスノグラフィ、質的研究法と一般化可能性についても概説する。</p>	<p>オムニバス方式・共同（一部）</p>
	<p>地域研究特論</p>	<p>地域研究とは、特定地域を対象とした各専門分野の協働による総合的研究である。特定地域の人文・社会的現象の理解のために、社会学、文化人類学、政治学、経済学、地理学、人口学など様々な学問的観点からその地域に関する包括的な研究を行う。自然科学、人文科学、社会科学を広範に横断した学際的な学問領域の一つである。この授業では、地域研究の方法論を中心に学ぶ。特に研究資料の収集、研究の問いの立て方、対象地域におけるフィールドワーク（現地調査）の技法など、地域研究の実践的なアプローチを修得する。人を対象とする研究領域であるため、調査倫理などの問題についても理解を深める。また、講義内容の理解を促進するために授業内では積極的にグループワークおよび討議を取り入れる。</p>	<p>講義 24時間 演習 6時間</p>

	Advanced Studies in Gender	<p>ジェンダーに関する基本的な概念を学ぶとともに、ジェンダー研究の国内外のさまざまな文献を通して、ジェンダーが関与する健康や社会問題、文化的事象について理解を深める。ジェンダーの視点から社会的・健康課題を、学際的に解明するための分析方法を学ぶ。ジェンダーという価値観が、我々の普段の社会生活に密接に関わっているか、またその価値観に支えられた制度によって、どのように操作されているかを理解し、ジェンダーが、我々の思考・行動や健康に及ぼす影響を理解することを目標とする。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (10 池田(野田) 愛/8回)</p> <p>高齢化、感染症、メンタルヘルス、慢性疾患、発達障害などとジェンダーとの関係性について概説し、ジェンダーが我々の健康問題に及ぼす影響を理解させる。</p> <p>(宮内 裕美/7回)</p> <p>歴史、人権、教育、職業、家族など様々な視点からそれらとジェンダーとの関係性について概説し、ジェンダーが我々の思考・行動に及ぼす影響を理解させる。</p>	オムニバス方式
	Advanced Studies in Arts	<p>「芸術」は英語、フランス語ではArt、ドイツ語ではKunstであり、本来「技術」を表す言葉であった。その意味が、現在の我々が使っている内容に変化したのは、西洋の文化においては18世紀のことであった。この意味の変容の過程を解き明かすことは、「芸術」とは人間にとって何であるかを考える上で重要な鍵となる。このコースでは、こうした社会の変化との関係性を意識しつつ、広く芸術一般について論じ、芸術作品の分析や歴史的考察、芸術・文化と社会・経済の関係などを、総合的な視点を踏まえて共に考えたい。具体的には、18世紀のヨーロッパ文化を中心に、それ以外の時代や地域の状況を概観しつつ、リベラルアーツの視点を重視しながら、人類の文化において「芸術」についての様々な異なる立場が存在する意味を考え、「芸術」が、自らの立場と相手の立場の接点を探るための有効な手段となり得ることを学びたい。</p>	
グローバルコミュニケーション研究領域	Advanced Studies in Intercultural Communication	<p>異なった文化背景を持つ人々とのコミュニケーションにおいては、言語的機能の問題に加えて、文化を背負った様々な問題がある。異文化間コミュニケーション学研究の主な目的は、これらの諸問題を認識し、文化とコミュニケーションの視点から過去を調べ、現在を分析し、未来を予測することにある。個人の世界観、価値観、思考様式といった内面的活動と、それらが外面化した異文化間でのコミュニケーション活動について研究をするためには、一般コミュニケーション論の代表的な研究領域、文化の概念、文化とコミュニケーションの関係、さらに研究の理論的背景と調査方法について理解を深めておくことが前提条件となる。この授業科目では、異文化間コミュニケーションに関する様々な現象を、認知面・情意面・行動面から調査、分析、説明できる能力を身に付け、理論の特徴及び構築方法を学ぶ。授業形式は、担当教員の講義、履修者の課題研究発表、そして、全員による討論で構成される。</p>	
	Advanced Studies in International Relations	<p>これまで当然と考えられてきた生活の条件が揺らがされている。水、空気、健康、そして安全と自由、どれもこれまでの世界では疑うことなく享受できるものと考えられてきたが、いまではそうではない。地球温暖化による環境変動は水やエネルギー、そして食糧の供給を揺るがしてしまった。世界各地が直面しているリスクはどれも一国単位では取り組むことのできないグローバルなリスクである。だが、リスクに対応する主体は何よりも各国政府であり、国際協調に基づいた対応は限られたものに過ぎない。それでは私たちはグローバルなリスクに対してどのように取り組むことができるのか。国際政治の視点からリスク対応の未来を考えることがこの講義の課題である。</p>	講義 21時間 演習 9時間
	Advanced Studies in International Economics	<p>経済のグローバル化や相互依存上昇の時代を経て、米中対立やロシアのウクライナ侵攻で転換期を迎え、経済の安全保障がクローズアップされている。一方で、世界は貧困、環境、難民など人間の安全保障に対する解決課題を多く抱えている。この授業科目では、近年の国際経済を理解する上での基本的な概念や見方を整理しつつ、最新の状況を学ぶ。学生は、①国際経済を学ぶ上で必要なマクロ経済・ミクロ経済の基本的概念を確認し、現実の経済状況の理解に応用し、②成長や福利を高める効果を持つ国際貿易や国際投資のあるべき姿と現状を理解し、③金融市場や外国為替など活発化する国際金融の標準的知識を備え、国際収支や債務問題などにも接近し、④貧困や環境をはじめ、人間の安全保障・SDGsに関わる開発経済の諸テーマを理解し、公衆衛生分野の国際協力に関心を高める、ことができる。</p>	

専門科目	Advanced Studies in Global Sociology	この授業科目では、社会学分野における主要な概念・理論への理解を深め、グローバル社会を理解するためのアプローチを検討し、現代社会における諸現象・事例の分析を行う。社会学分野の先行研究・方法論をふまえて、グローバル社会を分析する視点を涵養し、グローバリゼーションをめぐる多様な見解について理解し、グローバル社会における諸現象の分析を通じて、グローバリゼーションの影響やグローバル社会の諸課題について考察する。	講義 21時間 演習 9時間
	社会心理学特論	自分では気づかないうちに生じる思考の偏りや歪みは、「認知バイアス」と呼ばれる。本講義では、社会心理学の分野などで研究されてきた「認知バイアス」についての知識を、代表的な論文を読むことで学んでいく。このような学びを通して、バイアスの功罪を理解することができ、自らの判断やコミュニケーションについての省察を深めることができる。また、認知バイアスが人々の生活に及ぼす影響に着目することで、多様化するグローバル社会において生じる諸問題への実践的な対応方法を考えることができる。	講義 21時間 演習 9時間
グローバル	Advanced Studies in Health and Sports Science	食事や運動は健康の維持・増進に対して重要な役割を担っている。栄養には三大栄養素の他にミネラル、ビタミン、微量元素などがあり、いずれも正常な代謝状態の維持に重要な役割を担う。ヒトにおけるエネルギー産生には主に糖質と脂質の酸化が中心となるが、それらの過多は高血圧、糖代謝障害、脂質代謝異常などの生活習慣病を惹起する。その一方で、ビタミンや微量元素のミネラルの不足があると各種の欠乏症を生じ、生命の恒常性の維持が困難になる。また、運動・スポーツはエネルギーを消費するだけでなく、様々な機序により健康を増進させる。例えば、有酸素運動は骨格筋のインスリン感受性を高め、代謝血管障害の予防や治療に役立つ。さらにレジスタンス運動は骨格筋量を増加させることにより、高齢者におけるフレイルやサルコペニアを抑制する。本講義では、食事や運動が健康に与える影響について科学的根拠に基づき総合的に学ぶ。	
	Advanced Studies in Basic Medicine	ヒトの健康および疾病を理解するためには、生物の活動を支えている基本的な仕組みの理解を欠かすことが出来ない。この授業科目では、理系・文系の学生、医療系バックグラウンドをもたない学生が基礎医学の理解を深めるために、生化学、分子生物学、細胞生物学、微生物学と免疫学の基礎知識を学ぶ。また、人間の生命と社会、文化等との関連についての問題意識を深める。人体の基本的構成単位である細胞がどのように動いて機能を発揮しているのかについて理解し、疾病によって人体に起こる構造と機能の変化を学習するための基礎とする。	
	Advanced Studies in Biostatistics	この授業科目では、まず、統計的推論の基礎となる確率論の初歩的な概念を紹介する。その後、頻度論的統計推論の原理と古典的仮説検定の枠組みを学ぶ。後半は、様々な結果（二値データ、個数データ、時間対イベントデータなど）の統計的モデリングに焦点を当て、共変量の効果のモデリングと推定されたパラメータから得られる量の解釈に重点を置く。同時に、標準的な統計解析の実行のためのR環境の使用方法を学ぶ。この授業科目は、生命科学（より一般的には応用研究）のデータ分析によく使われる様々な概念と技法の基本的な導入から成る。その目的は、研究結果の解釈や研究プロジェクトの設計に必要な統計学の一般的知識を学生に提供することである。	講義 18時間 演習 12時間

ヘルスサービス研究領域	Advanced Studies in Epidemiology and Preventive Medicine	<p>この授業科目では、修士課程の学生が修士論文研究のための統計データ解析を実施できるようにする。具体的には、疫学・統計の基礎的事項を確認した上で、統計分析ソフトStataを用いた記述統計・分析的統計について学習する。この授業科目では、① 記述データの集計、グラフ化、要約を行う、② 連続データとカテゴリデータで基本的な統計分析を実行する、③ 仮説検定を理解し、推論分析を行う、④ 統計ソフトウェアパッケージに精通し、効率的に使用する、⑤ データの入力、データの管理、データ分析の準備のためのデータのコーディングを行う、⑥ 多変量分析を理解する、を学生が修得する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (12 白山 芳久/11回)</p> <p>疫学・統計の基礎的な事項を講義したうえで、統計分析ソフトを用いた記述統計・分析統計について学修する。疾病とその決定要因について実在するデータの解析を通じて理解させる。</p> <p>(12 白山 芳久・岡本 美代子/4回) (共同)</p> <p>統計ソフトにデータセットをインポートし、コマンドを実行して解析を行う。演習形式の授業を通して、様々なコマンドを用いた分析の手法を修得させる。</p>	<p>オムニバス方式・共同 (一部)</p> <p>講義 18時間 演習 12時間</p>
	Advanced Studies in Global Health	<p>世界には、生まれた民族や国、性や社会階層、収入の違いで差別的扱いを受け、健康的に生活できない人々が少なくない。そうした健康格差がある人々は、途上国ばかりではなく先進国にも存在している。彼ら彼女らの健康の現状を知り、どんな救済措置が可能なのかを考え、①容認しがたい(健康)格差の特定、②生じた格差の要因解明、③格差是正のための手段についての研究の推進、を行う。この授業科目では、世界の健康状況を把握し、問題を明確化し、その解決に向けたグローバルヘルスの基本戦略と方法論を理解する。</p>	
	ヘルスコミュニケーション特論	<p>ヘルスコミュニケーション学とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。この授業科目では、効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、① コミュニケーションの基本的な理論、② コミュニケーションの具体的なスキル、③ コミュニケーションの研究手法などを取り扱う。この授業科目の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な知識を得ることが出来る。</p>	<p>講義 21時間 演習 9時間</p>
	国際教養学特別研究 I	<p>この授業科目では、修士課程の修了に必要な修士論文又は特定課題研究を作成するための専門知識・技術を研究指導教員の指導の下に、段階的に修得する。修士論文又は特定課題研究は、学生自らが設定したテーマのもとで主題(問い)を立て、適切な研究方法を選択し、主題(問い)に対する答えをまとめるものである。学生は、入学試験時の口頭試問において、大学院で学びたい専門分野と研究指導教員の専門領域が一致しているか確認の上、研究指導教員を決定し、在学期間に渡り研究指導を受ける。国際教養学特別研究 I では、先行研究の検討を行い、テーマを決定し、研究計画書を作成する。</p> <p>[研究テーマの概要] (1 加藤 洋一)</p> <p>パンデミックという地球規模の危機や人口高齢化による非感染性疾患(NCD)死亡の増加等、医療専門職以外にも健康課題の解決を担うグローバルヘルス人材の幅広い育成が求められている。主に非感染性疾患を中心とした独創的なテーマを絞り込み、国際的な先行研究も視野に入れた上で、実行可能なリサーチエスチョンとして具体的な研究計画に落とし込み、広く社会的にも波及効果のある研究、或いは「根拠に基づく健康教育」のための実証的な研究の指導をしていく。</p> <p>(2 伊東 辰彦)</p> <p>社会の変化と芸術との関係性を意識しつつ、広く芸術一般について論じ、芸術作品の分析や歴史的考察、芸術・文化と社会・経済の関係などを、総合的な視点を踏まえて共に考えたい。学生には、人間の芸術活動について学ぶことによって、人間の社会や歴史において芸術が生み出す美がもっている意味についての理解を深めながら、自分という個人にとっても「芸術」が持っている意味を意識することを心がけて欲しい。</p>	

(3 藤原 帰一)

パンデミック、気象変動、地域紛争、経済危機というグローバルリスクのなかでも主要な四つのテーマについて講義と討論を行う。この4テーマに関連した問いを参加学生が立てることを出発点とし、その次に、各自の問いを、概念定義が明確であり、学術研究を行うことが可能なリサーチクエストへと具体化し、そのリサーチクエストに対する回答として意味を持つ作業仮説を立る。関連する論文・資料の入手方法について個別指導を行うとともに、リサーチクエストと作業仮説について、先行研究のサーベイを伴う研究計画書を提出し、中間報告と討論を行う。

(4 湯浅 資之)

本演習は、グローバルヘルス領域における地球規模の健康課題のテーマの中から、学生が興味関心のある研究課題・リサーチクエストを抽出し、その問題仮説を検証することを目指す。具体的には、リサーチクエストを検証するための疫学理論とその数値処理のための生物統計の手法を修得する。リサーチクエストを「アウトカム」と「関連する曝露要因」の関連性に読み替え、各々をどの変数で計測するのか検討する。またその関連性に影響を与える交絡要因の存在と、交絡要因を制御する方法を学ぶ。サンプリングや計測に伴うバイアスの制御方法も併せて学修する。その上で生物統計をもとに関連性の妥当性と信頼性を検証し、結果を修士論文としてまとめられるようになることを目指す。

(5 ニヨンサバ フランソワ)

分子細胞生物学研究法の基本を修得しその原理を理解しておくことは生命科学のいかなる分野に進むにあたっても必須である。分子細胞生物学的研究手法は、現実には非常に多様であるが、その中でもっとも基本的な実習として、細胞と遺伝子の階層的な関連について学習する。特に原核生物および真核生物のモデル細胞に対し、遺伝子組換え技術を用い、遺伝子が細胞の形質を決定する仕組みを理解すると共に、そのための手法を取得する。さらに、細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子である核酸 (DNA, RNA) やタンパク質を取り扱うための基本的な技能 (PCR法, ウェスタンブロッティング法など) を修得する。

(6 田村 好史)

全世界に共通する健康問題として、肥満や高齢化がある。その一方で日本では女性の痩せの問題が近年クローズアップされてきている。本授業科目では、このような健康課題に対するアプローチ法を検討するために、その根拠となる研究を行う。具体的には、過去に行われた研究のレビューを行うとともに、本研究室で進めている疫学のデータ解析を行うことにより、健康長寿を達成するためのエビデンスを構築する。このような研究を遂行することにより、クエストと仮説の立て方、それを検証するための方法の立て方、得られたデータの正しい解析法、結果に対する客観的な解釈が身に着くことが期待される。

(8 原 和也)

本演習の目的は、異文化間のコミュニケーションにおける諸問題について、通時的・共時的視点をもとに、世界観、価値観、思考様式における個人内レベルの活動と、それらが外面化した言語及び非言語行動としてのコミュニケーション活動の相関関係を明らかにすることである。研究のアプローチは、社会科学的視点からの理論モデルの構築、実証、そしてその結果に基づく理論の構築である。また、欧米を中心に発展してきたコミュニケーション理論の問題を批判的に分析し、非西洋的視点・東アジア中心のコミュニケーション学研究的視点から、新たな示唆を提供することも目標とする。

(10 池田 (野田) 愛)

貧困や差別、社会構造や雇用などを含む社会・経済・文化が人の行動や心身の健康状態にどのように影響するのかについて、疫学研究手法を用いた調査を実施し、心理学、行動学、社会学、経済学等の理論を用いて解明する実証的な研究の指導をしていく。社会の構造が集団あるいは個人の行動、生活習慣、健康状態に影響を与えるという社会疫学の基本的な概念を学び、その主要な方法論である疫学について基礎的な知識を習得する。また、同時に統計学の方法を学び、統計ソフトを用いて簡単な統計解析ができるように指導する。

国際教養学特別研究Ⅱ	<p>国際教養学特別研究Ⅱでは、国際教養学特別研究Ⅰの内容を引き継いだ上で、文献調査、主要な文献の整理を行い、中間研究報告書を作成する。先行研究を分析し、自らの仮説を検証するために必要な研究方法論を検討する。事例研究や調査研究の方法論を組み立てて、自らの仮説を検証していく準備を行い、それらを中間研究報告書としてまとめる。仮説の検証に必要な予備調査を繰り返し、研究計画を更新していく。</p> <p>[研究テーマの概要] 国際教養学特別研究Ⅰと同じ</p>	
国際教養学特別研究Ⅲ	<p>国際教養学特別研究Ⅲでは、国際教養学特別研究Ⅱの内容を引き継いだ上で、自らが立てた仮説の検証として、データの収集・分析、フィールドワークなどを行い、その成果を中間研究発表会にて報告する。自らが設計した方法論に従い、データを収集し、集めたデータを分析し、仮説の検証を繰り返す。必要な場合は仮説を修正し、別の仮説を検討する。仮説に対する検証の結果を中間研究発表会にて報告する。</p> <p>[研究テーマの概要] 国際教養学特別研究Ⅰと同じ</p>	
国際教養学特別研究Ⅳ	<p>国際教養学特別研究Ⅳでは、国際教養学特別研究Ⅲの内容を引き継いだ上で、修士論文又は特定の研究の成果の取り纏め、提出及び発表を行う。論文では、主題（問い）の提起、論証、主題（問い）に対する答えを結論で提示する。文章および資料・データが主題を論証するように組織立てて論文を作成していく。レファレンスや注記をつけて、要約を完成させる。完成した論文を提出し、論文に関する口頭諮問を受ける。</p> <p>[研究テーマの概要] 国際教養学特別研究Ⅰと同じ</p>	

学校法人順天堂 設置認可等に関する組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	→	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
順天堂大学					順天堂大学				
医学部 医学科	140	-	665		医学部 医学科	<u>105</u>	-	<u>630</u>	臨時定員減員
スポーツ健康科学部 スポーツ科学科	0	-	0		スポーツ健康科学部 スポーツ科学科	0	-	0	令和3年4月学生募集停止
					スポーツ健康科学部 スポーツマネジメント学科	0	-	0	令和3年4月学生募集停止
					健康学科	0	-	0	令和3年4月学生募集停止
健康科学部 スポーツ健康科学科	600	-	2400		健康科学部 スポーツ健康科学科	600	-	2400	
医療看護学部 看護学科	220	-	880		医療看護学部 看護学科	220	-	880	
保健看護学部 看護学科	130	-	520		保健看護学部 看護学科	<u>160</u>	-	<u>640</u>	定員変更(30)
国際教養学部 国際教養学科	240	-	960		国際教養学部 国際教養学科	240	-	960	
保健医療学部 理学療法学科	120	-	480		保健医療学部 理学療法学科	120	-	480	
					保健医療学部 診療放射線学科	120	-	480	
医療科学部 臨床検査学科	110	-	440		医療科学部 臨床検査学科	110	-	440	
					医療科学部 臨床工学科	70	-	280	
健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	100	-	400		健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	100	-	400	
					薬学部 薬学科	<u>180</u>	-	<u>1080</u>	学部の設置 (認可申請)
計	1850	-	7505		計	<u>2025</u>	-	<u>8670</u>	
順天堂大学大学院					順天堂大学大学院				
医学研究科 医科学専攻(M)	60	-	120		医学研究科 医科学専攻(M)	60	-	120	
" 医学専攻(D)	180	-	720		" 医学専攻(D)	180	-	720	
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士前期課程)	61	-	122		スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士前期課程)	61	-	122	
" スポーツ健康科学専攻 (博士後期課程)	10	-	30		" スポーツ健康科学専攻 (博士後期課程)	10	-	30	
医療看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	29	-	58		医療看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	29	-	58	
" 看護学専攻 (博士後期課程)	12	-	36		" 看護学専攻 (博士後期課程)	12	-	36	
保健医療学研究科 理学療法学専攻 (修士課程)	5	-	10		保健医療学研究科 理学療法学専攻 (修士課程)	5	-	10	
					保健医療学研究科 診療放射線学専攻 (修士課程)	5	-	10	
					国際教養学研究科 国際教養学専攻 (修士課程)	<u>5</u>	-	<u>10</u>	研究科の設置 (認可申請)
計	362	-	1106		計	<u>367</u>	-	<u>1116</u>	

※医学部医学科の収容定員は令和10年度及び令和11年度(6年次まで学年進行した年度)の収容定員